



国府の子

2023(令和5)年度3月号
わたしもGOOD
あなたもGOOD
みんながGOODの
国府小学校
文責:伊津

祝 第9期卒業生 ご卒業おめでとうございます

多くの方々からの温かい祝福と励ましを受け、第9期生59名が立派に旅立ちました。保護者の皆様にとっては、立派に成長したお子様の姿に、お喜びでいっぱいのごとでしょう。

6年間の学びの中で、しっかりと成長してきた6年生ですが、とりわけこの3学期には、卒業プロジェクトとして、感謝の気持ちを伝える取組、思い出を残す取組、後輩に引き継ぐ取組などをとおして、一段と頼もしく成長したように感じます。

卒業式には在校生代表として5年生が出席しました。1年生から4年生は、6年生を送る会や卒業式前日の校内見送りの中で、祝福と感謝の気持ちを伝えました。



保護者の皆様、これまでのPTA活動や学級・学年での活動にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。国府小卒業生の活躍を、これからも見守っていきます。



浜高生の小学校体験

学校勤務に興味をもつ浜田高校2年生3名が、市内小中学校での体験活動を行いました。写真は、本を紹介するPOP作りを手伝った様子です。



左から、花野楓香さん、木村紗亜耶さん、山本あゆ美さんです。

島根県書初め展結果

学校や家庭で取り組んだ作品を、4年生以上が出品し表彰されました。受賞した児童を紹介します。

- 【特選】6年 岡田明奈
- 【金賞】5年 石津楓 江川湊生 西田望乃
和田彩生
- 6年 大辻愛子 辻野早都佳 佐々田美怜

島根県読書ノートコンクール結果

市読書ノートコンクールで入選した児童のうち、県のコンクールで受賞した児童を紹介します。

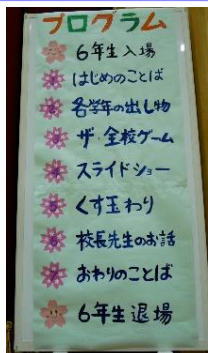
- 【最優秀賞】1年吉田結陽
- 【優秀賞】1年井上紘太郎
- 【入選】3年井上侑大

《お知らせ》

- ★ 児童の学用品については、プリントで保護者の皆様にお知らせしましたとおりです。お示している筆箱の中に入れるもの等は、国府小児童全員が集中して学習に臨むことができ、学習効果をあげるための基準です。内容をご理解いただき、年度末休業の間に準備を進めていただきますようお願いいたします。

- ★ これまで3年生が実施してきた「自転車教室」について、各家庭の自転車所有状況が様々なため、令和6年度以降は、自転車を使っの教室開催はしないこととします。交通安全指導は引き続き行いますので、各ご家庭でも安全指導にあわせ、自転車の乗り方についての確認をお願いします。

お互いありがとう! 6年生を送る会



「6年生を送る会」は、5年生が中心になって全校児童に呼びかけて開催されます。この取組をスタートとして、5年生が今後の全校のリーダーになっていくこととなります。今年度も一人一人が自分の役割をしっかりと果しながら、チームワークを発揮して見事に会を成功させました。5年生の活躍に、国府小の明るい未来が続くことを確信しました。

各学年児童も、お世話になった6年生に感謝を伝えるため、歌やクイズ、ダンスやメッセージなど、一生懸命発表しました。心温まる幸せな時間となりました。



1年間のご協力に感謝

保護者、地域の皆様のお力をいただき、令和5年度も子どもたちの成長を感じながら、安全と安心の中で過ごすことができました。皆様のご協力・ご理解に深く感謝申し上げます。令和6年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

領域	中期目標 3年程度 の目標	短期目標 今年度の重点	目標 値	自己評価					評価分析 (成果と課題)	学校関係者評価 コメント	改善計画 改善案
				アンケート結果(%)							
				保護 者	評 価	児 童	評 価	職 員			
心 づ く り ・ ・ ・ な か よ く	1 居心地の良い 学校、学級づ くり	①自己指導能力を高める ②身に付けた力のできる ことを増やす ③いじめ見逃しゼロ、不 登校対応	79.3	B (A)	86.0	A	100	A	・計画的にアンケートを実施することができた。 ・学校の取組について、昨年度の改善案を踏ま えて情報提供を行ってきたが、引き続き学校だ り等でお知らせしていただく必要があるのでは ないか。	・保護者、児童、職員の数値に差が出 ている理由を検討してほしい。特に、 地域との連携・協働の推進の数値に 開きがある。併せて、居心地の良い学 校・学級づくりについては、昨年度より 評価が低くなっているところに課題で ある。	・アンケート結果と取組の実際を学校だり で知らせるなど、保護者に情報提供を行 い、周知する機会を増やす。
	2 地域と連携、 協働の推進	①安全な登下校を継続 する	76.3	B	88.7	A	100	A (B)	・昨年度の改善案を踏まえ、取組目標に掲げた具 体的な指導内容を明確にして指導することができ たが、学校での取組をさらに周知する必要がある のではないか。	・見守り活動をしていて、年度当初に 比べたら、大きな声でよく挨拶をしてい るように感じる。地域でも挨拶の意識 が向上している。衰々の顔を覚えても らっていることもうれしい。	・気持ちの良い挨拶ができるように生活目標として全校で取り組んでい く。さらに児童の取組状況や確認を保護者へ情報共有する。 ・PTA生活環境部の取組の様子を学校だりでお知らせし、保護者の 協力を仰ぐ。
	3 ふるさと教育 の充実	①家庭・地域との付けた い力の共有 ②郷土愛を育てる	92.9	A	90.7	A	96.4	A	・生活科や総合的な学習の時間に地域と連携し 地域を活用した授業を行った。さらに学級通信等 を活用して保護者へお知らせすることができた。 ・地域連携での学習成果物を持ち帰ったり、学習 成果発表会を活用して学習の成果や感謝を発信 したりすることができた。	・登下校については、見えにくい部分 かもしれないが、引き続き強く指 導してほしい。 ・ふるさと教育について、高評価を得 ているとおり、内容的にも充実し ていると感じている。	・カリキュラムの重複や系統の整理を引き続き行って いく。地域と連携して地域を活用した学習を効果的に、継続的 に設定していくために、まづづくりセンターを窓口として探 究活動を実施していく。
学 び づ く り ・ ・ ・ か し こ く	1 子どもが主体 となる授業づ くり	①わかった、できたとい う納得の姿を増やす ②教師のファシリテート による対話的な授業	84.2	A	84.8	A	96.4	A	・教師も児童も「めあて」(身に付ける力)を意識し て「わかる」「わかる」を楽しく授業ができた。 ・児童の発言の機会が多さや発表の仕方に課題 があると思われる。教師は声をつないでいるつも りでも、一部の子の発表(声)に反応したり、多くの 子は自信が持てず発表をためらっている現状 があるのではないか。	・学習に向かう姿勢や学習態度が 年々よくなっていると感じている。どの 子も担任をしっかり見ながら、積極 的に学習に取り組んでいる様子が見え る。日頃の学級づくりや生徒指導の 成果と捉えている。 ・タブレットを家庭に持ち帰って使っ ている姿は少ないと聞いている。家庭 でのタブレット活用について検討してほ しい。	・ゴールを意識した単元構成や授業づくりの大切さを学ん だ研究を持続可能なものにするために、「授業づくりシ ート」を活用し、いつでも授業公開・研修ができるようにする。 ・授業の中で児童が互いの考えを出し合ったり、認め 合ったりできる授業スタイルや展開を研修して授業改善に 取り組む。
	2 ICT&図書館 活用教育の充 実	①学びや将来への興 味・関心を広げる	71.7	B	86.7	A	92.6	A	・図書館の図書を使ったり、タブレットを使ったりす ることを意識して授業が行われている。 ・家庭では本を読む、タブレットで学習する姿があ まり見られないので、学校での姿を発信していくと よいのではないか。	・家庭学習の習慣化が課題である。家 庭学習に対して、子どもたちが受け身 になっているのではないかと。自分から 進んでいく意欲を養っていくとよ い。	・授業公開などで、児童がタブレットを活用したり、ICT機器 を活用して考えを交流している場面を保護者に見てもら う。 ・読書週間や週末読書を全校共通の取組として、本の持 帰りや低学年でも「読書ノート」を活用して、家庭で読書 している姿を見せよう。
	3 見通しをもち家 庭学習に取り 組むための指 導	①学びを振り返る力を付 ける ②学習時間を十分確保 する ※小中連携	73.6	B	73.8	B	80.0	A	・まだ十分に家庭学習の習慣がついていない。 ・特に今回は具体的な「学習時間」を一律に設定 したが、多様な家庭での生活時間を考慮したり、 児童が自主的に(家庭の協力・承認を受けた)学 習時間を設定したりするなど、柔軟で継続可能な 取組が必要ではないか。	・家庭学習については、保護者の協力 が必要である。これだけではやって おけない約束事、家庭の中で決 められるような取組が行えるとよ い。	・年度初めに全学年共通の取組として「家庭学習カード」 を作成する。 ・児童が自分で計画を立てたり、家族と相談して学習時 間を決めたりする取組を家庭の協力を得て進める。 ・定期的に保護者にも取組の振り返りをお願いする。
体 づ く り ・ ・ ・ た く ま し く	1 体力の向上	①楽しいと感じる運動や 遊びの充実	82.9	A	78.0	B	88.9	A	・マラソンカードによる意欲づけに効果が見られ た。正確な周数把握については課題が残る。 ・持久走大会については、行事が続く中での開催 であったため、負担に感じている児童もいたのでは ないかと考える。	・外で遊ぶ子をほとんど見ることがなくな った。遊ぶ機会も減っており、体を動 かす機会が減っている。学校では、こ れまでも持久走やなわとび等の取組を 行いながら、運動量が確保できるとい い。 ・基本的な生活習慣の育成については、 今後も保護者と一緒になって取り組むよ うな工夫を行う必要がある。 ・学校が行っている学習環境づくりの具 体的な様子、保護者へどう伝えていくか が課題である。 ・今年度は、運動面でもいろいろなことが、 従来のようにできるようになってきた。学 校の取組に対する保護者の期待に応えら れるよう工夫が見られるといい。 ・みんなで、共通理解しながら、繰り返し やっていくことが大切である。保護者と 連携しながら、たくましく心身の育成に 今後も取り組んでほしい。	・マラソンカードの取組を今年度で続ける。 ・来年度は「わたしたちの体育」を使用しないので、な わとび、鉄棒などについてもファイル等に入れて今年度で 使用し、家庭での練習(運動量確保)にも役立てる。検定につ いては学校で行うことで、技能の確認をする。
	2 基本的な生活 習慣の育成	①元気な心と体の自覚	77.9	B	83.1	A (B)	96.3	A (B)	・懇話でも夜更かしの話があった。アンケートのタ イミングだけでも意欲づけになった。 ・保健便りなどの寄附は保護者向けの情報提供とな った。 ・習い事やメディア接触については、高学年になると保 護者も把握しきれない様子である。	・姿勢「こだまふはさん」のようなモデル図があ ると指導の助けになる。教室に普段から当たり前 にあるといい。 ・姿勢教室のようなイベントがあると、児童のモチ ベーションも上がり、外部への啓発にもなる。	・中学校とも連携を図りながら、元氣アップカードを継続 して活用できることと良い。 ・学期途中にも小チャレンジで啓発の期間を設定する。児 童への声かけが行うが、保護者負担軽減のため、コメント までは求めない。
	3 学習環境づく り	①学習に向かえる準備 ②姿勢づくり	76.4	B (A)	81.6	A	89.3	A	・情報発信については、保護者、職員ともに高い 評価を受けた。 ・すぐるを効果的に活用し、スピーディに保護者 や職員に必要な情報を届けることができた。 ・HPの更新も継続して行うことができた。	・昨年度に比べ改善が見られた。 ・学校の教育方針を保護者に伝える機会を確保 すること、伝え方を工夫していただくことが今後の課題 である。 ・皆さんの評価は高い。地道な努 力の成果であると受け止めている。 ・引き続きいくことが大切である。 これらを通して、家庭や地域とよ り連携を密にしていってほしい。 ・学校からの情報発信によること で、安全安心が高い、学校の信頼 につながっている。学校に対しての 思いであり、非常に大きな成果でも ある。	・すぐるの操作を複数の職員ができるようにし、さらなる 情報発信の充実に努める。 ・今後も、定期的ICPを更新し、学校の教育活動の様子を 継続して発信していく。 ・学校の教育方針について、学校だりに限らず、PTA総 会や学級懇談会、HP等、あらゆる機会を通して継続して 伝えていく。
開 か れ た 学 校 信 頼 さ れ る 学 校	1 学校からの情 報発信	①連絡システムの活用 ②HP、たより・学校評価 の工夫	95.0	A			96.7	A	・情報発信については、保護者、職員ともに高い 評価を受けた。 ・すぐるを効果的に活用し、スピーディに保護者 や職員に必要な情報を届けることができた。 ・HPの更新も継続して行うことができた。	・すぐる、ホームページ、学校だ りより等、拝見させていただいた り、効果的な情報発信の方法で、 一生懸命に発信されている様子 がうかがえる。地域の方にも受け止 めてもらっているように感じる。 ・皆さんの評価は高い。地道な努 力の成果であると受け止めている。 ・引き続きいくことが大切である。 これらを通して、家庭や地域とよ り連携を密にしていってほしい。 ・学校からの情報発信によること で、安全安心が高い、学校の信頼 につながっている。学校に対しての 思いであり、非常に大きな成果でも ある。	・すぐるの操作を複数の職員ができるようにし、さらなる 情報発信の充実に努める。 ・今後も、定期的ICPを更新し、学校の教育活動の様子を 継続して発信していく。 ・学校の教育方針について、学校だりに限らず、PTA総 会や学級懇談会、HP等、あらゆる機会を通して継続して 伝えていく。
	2 社会に開かれ た教育課程 (計画)	①教育活動の目的、評 価の共有 ②教科等横断型の授業 の推進	87.7	A (C)			100	A	・昨年度に比べ改善が見られた。 ・学校の教育方針を保護者に伝える機会を確保 すること、伝え方を工夫していただくことが今後の課題 である。 ・皆さんの評価は高い。地道な努 力の成果であると受け止めている。 ・引き続きいくことが大切である。 これらを通して、家庭や地域とよ り連携を密にしていってほしい。 ・学校からの情報発信によること で、安全安心が高い、学校の信頼 につながっている。学校に対しての 思いであり、非常に大きな成果でも ある。	・すぐるを効果的に活用し、スピーディに保護者 や職員に必要な情報を届けることができた。 ・HPの更新も継続して行うことができた。	・すぐるの操作を複数の職員ができるようにし、さらなる 情報発信の充実に努める。 ・今後も、定期的ICPを更新し、学校の教育活動の様子を 継続して発信していく。 ・学校の教育方針について、学校だりに限らず、PTA総 会や学級懇談会、HP等、あらゆる機会を通して継続して 伝えていく。
	1 学校の安全安 心	①交通安全、自然災害 等への対応 ②地域との連携・協働 の推進	95.0	A			100	A	・すぐるを活用し、必要な情報を保護者や地域 へ迅速に連絡することができた。 ・緊急下校等に備え、見守り隊の把握とすぐる の登録者を増やすことが課題である。	・すぐるを活用し、必要な情報を保護者や地域 へ迅速に連絡することができた。 ・緊急下校等に備え、見守り隊の把握とすぐる の登録者を増やすことが課題である。	・緊急時、すぐるで必要な情報を発信していくことにつ いて、保護者や地域の方(登下校の見守り隊)と共通理解を 図り、学校・家庭・地域がより連携できる体制をつくる。
2 タイムリーな 教育環境整備	①子ども達が生活す る場としての教育環境を整 える。	86.4	A			98.3	A	・教育環境の整備については、現状が保護者に伝 わりにくいと思われる。 ・子どもたちにも伝わっていない部分が多々あ るのではないか。 ・職員への周知方法も課題が残る。	・新しく購入したものを整備したのについて、児童には学 級や全校児童が集まる場等での都度紹介していく。職 員には、会議の場や職員間の回覧等を利用して細目に周 知していく。		

★評価…肯定率80%以上→A(目標値クリア) ・70%以上～80%未満→B ・70%未満→C 評価内の()内は、同一項目で昨年度と変化があった評価

学校では、教育活動の充実のため、また保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、上記表にありますように、毎年「学校評価」として、様々な形でご意見をいただき、改善に努めております。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきました。学校評議員(大崎能國様、河野佐代美様、田中昌昭様、山本稔様、佐々田大輔様)の皆様からは、学校見学や情報交換を重ねたのち、学校関係者評価としてのご意見をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。国府小学校では、今後も子どもたちの教育の充実のための取組を進めていきます。

令和6年度当初の主な行事予定

- 4月 8日(月) 着任式・始業式
- 4月 9日(火) 入学式
- 4月10日(水) 給食開始(1年生は11日開始)
- 4月18日(木) 全国学力学習状況調査6年生
- 4月25日(木) 授業公開日・PTA総会・学級懇談
- 5月23日(木) 小体連陸上大会5・6年生
- 5月27日(月) 同上予備日